

正社員の採用予定 60.4% 3年ぶりに増加

業界別の『採用予定がある』割合は
正社員、非正社員ともに『運輸・倉庫』がトップ

埼玉県・2026年度の雇用動向に関する企業の意識調査



本件照会先

阿部 成伸、梅林 政文
帝国データバンク
大宮支店情報部
048-729-7702(直通)
情報部:info.ohmiya@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/04/27

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2026年度の正社員雇用では、『採用予定がある』企業が60.4%と3年ぶりに増加した。6割台に回復したのも3年ぶり。『採用予定がある』企業を規模別にみると、正社員、非正社員ともに規模が小さい企業ほど割合が低くなる傾向。業界別では、正社員、非正社員ともに『運輸・倉庫』がトップに。正社員の採用について、採用形態別でみると、「新卒新入社員」は31.2%、「中途社員」は52.8%。「大企業」に比べ規模の小さい企業ほど中途採用を重視する傾向が強い。

※株式会社帝国データバンク大宮支店は、埼玉県内の企業864社を対象に、「2026年度の雇用動向(採用)」に関するアンケート調査を実施した。

調査期間:2026年2月13日~2月28日(インターネット調査)

調査対象:埼玉県内の企業864社、有効回答企業数は381社(回答率44.1%)

正社員『採用予定がある』割合は 60.4%

2026年度(2026年4月～2027年3月入社)の正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』(「増加する」「変わらない」「減少する」の合計、いずれも見込み含む:以下同)企業の割合は前回調査(2025年2月実施)から3.2ポイント増の60.4%となり、3年ぶりに前年度を上回った。6割台に回復するのも3年ぶり。また、採用予定がある企業の内訳は、採用人数が「増加する」企業が同5.7ポイント増の25.7%、「変わらない」が同2.1ポイント減の27.6%、「減少する」が0.5ポイント減の7.1%となった。一方、『採用予定はない』は同0.5ポイント増の29.7%であった。

正社員の雇用動向(採用)

	正社員採用 (%)						有効回答数 (N)	調査年月
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない		
2005年度	72.3	26.8	38.4	7.0	22.6	5.2	328	2005年2月
2006年度	66.4	27.1	33.3	5.9	26.5	7.1	339	2006年2月
2007年度	68.2	26.8	33.6	7.7	22.0	9.8	336	2007年2月
2008年度	59.3	21.5	29.7	8.2	34.5	6.2	354	2008年3月
2009年度	41.1	12.4	18.2	10.5	48.7	10.3	380	2009年2月
2010年度	37.2	11.7	16.8	8.7	50.0	12.8	368	2010年2月
2011年度	44.1	17.3	19.5	7.3	46.2	9.7	370	2011年2月
2012年度	48.8	20.3	20.8	7.7	43.3	7.9	365	2012年3月
2013年度	53.8	21.4	23.6	8.8	37.9	8.3	351	2013年2月
2014年度	58.3	26.9	26.1	5.3	30.8	10.9	357	2014年2月
2015年度	64.2	25.9	31.8	6.4	25.9	9.9	374	2015年2月
2016年度	64.2	28.1	27.3	8.8	25.5	10.3	388	2016年2月
2017年度	64.3	27.1	28.4	8.9	25.8	9.9	384	2017年2月
2018年度	66.1	26.6	30.5	8.9	24.2	9.7	380	2018年2月
2019年度	62.4	19.5	34.0	8.9	26.5	11.1	359	2019年2月
2020年度	58.3	19.4	28.9	10.0	29.4	12.4	412	2020年2月
2021年度	50.0	17.1	23.3	9.6	36.5	13.5	416	2021年2月
2022年度	59.7	24.5	29.3	5.9	31.1	9.2	437	2022年2月
2023年度	63.8	26.2	30.7	6.8	27.8	8.4	381	2023年2月
2024年度	58.0	23.0	28.6	6.4	30.6	11.4	405	2024年2月
2025年度	57.2	20.0	29.7	7.6	29.2	13.5	421	2025年2月
2026年度	60.4	25.7	27.6	7.1	29.7	10.0	381	2026年2月

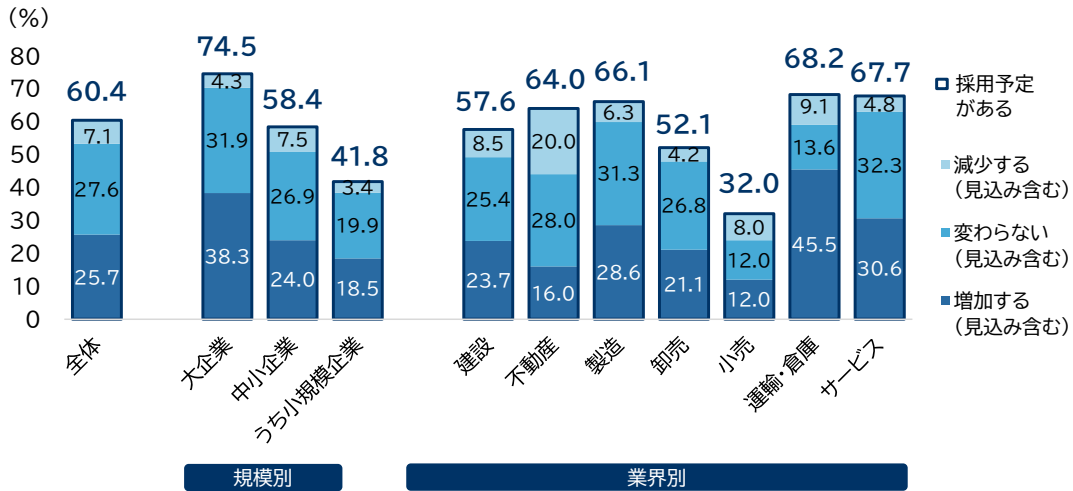
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

正社員『採用予定がある』割合、『運輸・倉庫』がトップ

規模別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、「大企業」は74.5%と全体(60.4%)を大幅に上回った。一方で、「中小企業」は58.4%、うち「小規模企業」は41.8%となり、企業規模が小さいほど割合が低くなる傾向がみられた。

業界別に正社員の『採用予定がある』割合をみると、深刻な人手不足に直面している『運輸・倉庫』が68.2%で最も高かった。次いで、『サービス』(67.7%)、『製造』(66.1%)、『不動産』(64.0%)と続き、いわゆる「2024年問題」で揺れた『建設』は57.6%と全体を2.8ポイント下回った。

正社員『採用予定がある』割合



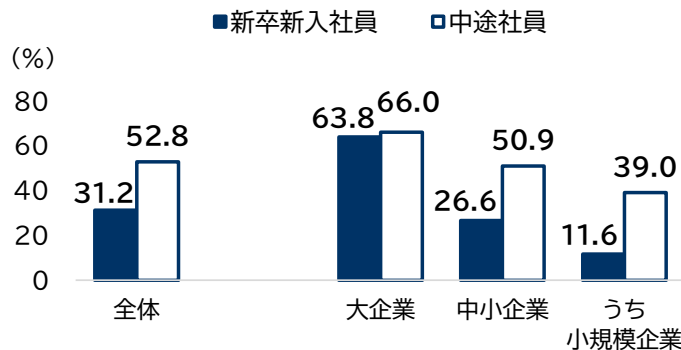
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

正社員採用予定、新卒新入社員は 31.2%、中途社員は 52.8%

2026年度の正社員の採用状況を採用形態別に尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）企業の割合は、「新卒新入社員」が31.2%、「中途社員」が52.8%となった。

規模別にみると、「大企業」では「新卒新入社員」が63.8%、「中途社員」が66.0%だったが、「中小企業」では「新卒新入社員」が26.6%だったのに対し、「中途社員」はそれを大きく上回る50.9%となり、大企業に比べて中途採用をより重視する傾向がみられた。

正社員の採用～新卒新入社員と中途社員～



非正社員『採用予定がある』割合は 46.7%

2026年度の非正社員の採用状況について尋ねたところ、『採用予定がある』（「増加する」「変わらない」「減少する」の合計）企業の割合は前年度比 3.2 ポイント減の 46.7%となり2年連続で低下した。『採用予定はない』は同 4.0 ポイント増の 39.6%であった。

非正社員の雇用動向(採用)

	非正社員採用 (%)						有効回答数 (N)	調査年月
	採用予定がある	増加する (見込み含む)	変わらない (見込み含む)	減少する (見込み含む)	採用予定はない	分からない		
2005年度	73.5	19.2	48.5	5.8	18.3	8.2	328	2005年2月
2006年度	62.2	17.4	39.2	5.6	26.8	10.9	339	2006年2月
2007年度	64.9	19.6	38.4	6.8	24.1	11.0	336	2007年2月
2008年度	48.6	12.1	26.3	10.2	40.1	11.3	354	2008年3月
2009年度	30.8	6.3	12.1	12.4	58.2	11.1	380	2009年2月
2010年度	28.8	6.0	15.8	7.1	59.2	12.0	368	2010年2月
2011年度	36.5	11.4	17.3	7.8	51.4	12.2	370	2011年2月
2012年度	39.7	10.4	24.1	5.2	47.7	12.6	365	2012年3月
2013年度	43.3	10.8	26.2	6.3	45.3	11.4	351	2013年2月
2014年度	53.2	16.8	31.9	4.5	34.5	12.3	357	2014年2月
2015年度	54.8	16.6	31.6	6.7	33.7	11.5	374	2015年2月
2016年度	51.3	14.4	30.4	6.4	37.6	11.1	388	2016年2月
2017年度	53.6	19.3	28.4	6.0	33.9	12.5	384	2017年2月
2018年度	57.4	18.2	32.9	6.3	32.9	9.7	380	2018年2月
2019年度	52.9	11.7	33.1	8.1	34.8	12.3	359	2019年2月
2020年度	45.9	13.6	24.3	8.0	39.3	14.8	412	2020年2月
2021年度	34.4	8.4	21.9	4.1	49.5	16.1	416	2021年2月
2022年度	48.7	13.7	29.3	5.7	38.2	13.0	437	2022年2月
2023年度	49.3	14.2	29.7	5.5	39.4	11.3	381	2023年2月
2024年度	51.9	14.8	31.6	5.4	34.8	13.3	405	2024年2月
2025年度	49.9	13.8	30.2	5.9	35.6	14.5	421	2025年2月
2026年度	46.7	12.6	28.1	6.0	39.6	13.6	381	2026年2月

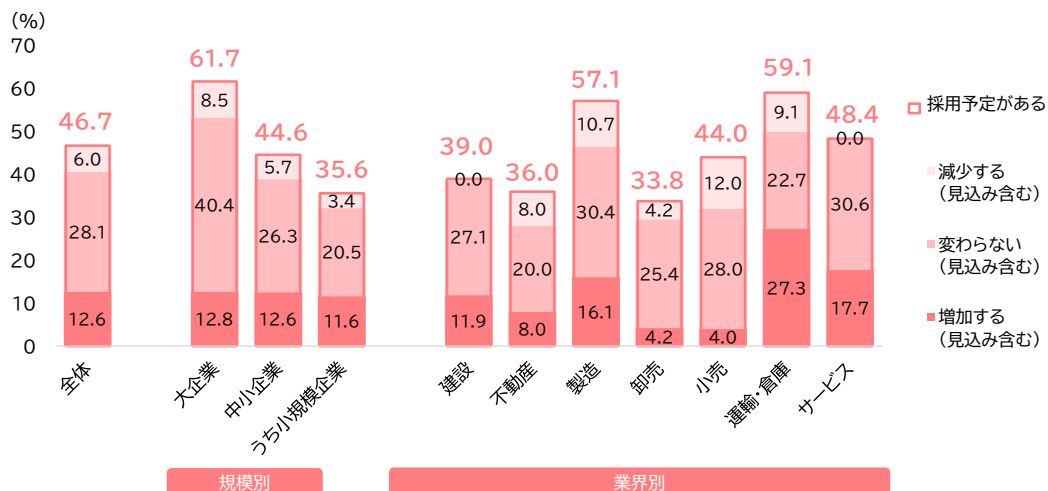
※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

非正社員『採用予定がある』割合、『運輸・倉庫』がトップ

規模別に非正社員の『採用予定がある』割合をみると、正社員と同様に企業規模が小さいほど割合が低くなっている。

業界別では、やはり『運輸・倉庫』が59.1%で最も高く、次いで、『製造』(57.1%)、『サービス』(48.4%)、『小売』(44.0%)、『建設』(39.0%)と続いた。

非正社員『採用予定がある』割合



※小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳とは必ずしも一致しない

まとめ

帝国データバンクが毎月実施している「TDB 景気動向調査」では、2026年2月時点において全国で正社員が不足している企業の割合は8カ月連続で5割台と高水準で推移している。こうした状況のもと、埼玉県企業の2026年度の正社員の動向について、『採用予定がある』と回答した企業は前年度比3.2ポイント増の60.4%となり、3年ぶりに前年度を上回った。人手不足への対応に加え、退職者や高齢化による補充需要が一段と高まっているほか、事業拡大や新規事業・拠点開設を見据えた“攻めの採用”の動きもみられる。また、非正社員から正社員へ移行させる意向を示す企業もあり、非正社員について『採用予定がある』企業は同3.2ポイント減の46.7%と2年連続で低下した。

しかし、採用予定があると回答した企業からは、「市場に人材がない」「大企業に比べ賃金水準で見劣りするため応募が集まらない」といった声も聞かれ、計画通りの人材確保については依然として厳しい状況にある。また、人材獲得のための賃上げにともない、既存社員との賃金バランスの調整が課題となるケースもみられた。こうした環境のなかで、非正社員から正社員への登用や外国人雇用を選択肢に入れる企業も一定数存在する。さらに、AIの活用や自動化など省人化の取り組みも複数の企業で検討されており、人材確保の難しさを背景に、企業側の対応は多様化している。大企業に比べて賃金や待遇面で見劣りする中小企業に対しては、賃上げ負担への助成や価格転嫁を進めやすい環境整備、省力化・省人化投資への支援、外国人雇用に関する規制緩和など、多方面からの政策的支援が一層求められる。

<参考> 企業からの声

主な企業からの声	規模・業界
・中小零細企業での人材採用は困難であり、来てもすぐに辞めてしまう。優秀な外国人労働者のほうが戦力になる	小規模企業・建設
・大手企業は賃上げが進むが、中小零細企業は大手のように賃上げできず採用したくても採用できない	小規模企業・不動産
・採用しても退職者が減らない	中小企業・サービス
・募集活動を行うも、中々結果がでない	中小企業・製造
・パート・アルバイトを多く採用したいが、応募をしてもフルタイム希望はあるもののパートはとても採用には至らない	小規模企業・小売
・技能実習生を採用し、いずれは特定技能に変更する見込み。中途採用も比較的好調である	中小企業・運輸・倉庫
・新卒採用はなく、欠員予定がある時に中途採用で補充している	中小企業・製造
・正社員・非正社員とも人件費コストアップが経営を圧迫し始めている	大企業・サービス
・入ってもすぐやめる人が多すぎて採用に慎重になっている	小規模企業・製造